

障がい者スポーツ を通じた相互理解



■ 本事業について

障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒が共に障がい者スポーツを行うことや、障がい者トップアスリートの体験談を聞くことなど、障がい者スポーツを通じた交流及び共同学習を実施しました。

小・中学校、高等学校の児童生徒には障がいに対する理解啓発を行うこと、特別支援学校の児童生徒には社会参加への意欲を高めることを目的に、ブラインドサッカーや車いすバスケットボール、車いすカーリングに取り組みました。

■ 本資料について

障がいの有無にかかわらず、児童生徒が共に障がい者スポーツを楽しめるよう、本事業で取り組んだ障がい者スポーツの特色や交流及び共同学習を実施する際のポイント等について掲載しています。障がい者スポーツを通じた交流及び共同学習を実施する際に、児童生徒の興味・関心を促すよう児童生徒に配布したり、掲示したりして御活用ください。



■ 障がい者スポーツ交流会

障がい者スポーツの体験を通して、児童生徒の相互理解やパラリンピックへの興味・関心を高めることを目的とし、北海道札幌視覚支援学校でブラインドサッカー、北海道岩見沢高等養護学校で車いすカーリングに、それぞれ取り組みました。

■ 障がい者トップアスリート講演・体験会

障がい者トップアスリートの体験談などの講演会を通して、アスリート一人一人が努力して培った技術や迫力あるプレーに触れ、障がいに対する理解を深めることを目的とし、北海道旭川盲学校、北海道帯広盲学校でブラインドサッカー、北海道網走養護学校で車いすバスケットボール、北海道真駒内養護学校、北海道函館養護学校、北海道白糠養護学校で車いすカーリングに、それぞれ取り組みました。

競技名

ブラインドサッカー

特色

ブラインドサッカーは、フットサルに近いスポーツです。視覚障がいがある人とない人が協力して試合を行います。

車いすバスケットボールは、一般のバスケットボールとほぼ同じルールですが障がいの程度に応じた持ち点があります。

車いすカーリングは、一般のカーリングとほぼ同じルールですが、ストーンを掃く行為（スイーピング）がないのが特色です。

■ **ブラインドサッカー特有のルール**
フィールドプレーヤーはボールを持った相手に向かって行く際に、危険な衝突を避けるため「ホイ！」と声を出して相手に知らせます。

■ **音の出るボール**
ボールは、フットサルのボールと同じ大きさです。ボールは転がると音が出る特別なボールを使用します。

■ **見える人の協力**
敵陣ゴールの裏に、「ガイド（コーラー）」と呼ばれる役割の人が立ち、攻めている場面でゴールの位置や距離などを声で伝えます。また、ゴールキーパーは目の見える人が務め、守りについて声で指示を出します。

■ **ルールのサイト**
特定非営利活動法人 日本ブラインドサッカー協会
https://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=_NAsBkJ6PHk



■ **試合の動画**
ブラインドサッカー世界選手権日本戦ダイジェスト
https://www.youtube.com/watch?v=JCIEYaXSItY&feature=player_embedded



交流及び共同学習のポイント！

本事業で実施したアンケートでは、障がい者スポーツに取り組む前に、「難しそう」や「不安」と回答した児童生徒が41%、「楽しそう」と回答した児童生徒は40%でした。

交流実施後のアンケートでは、「難しかった」や「不安だった」と回答した児童生徒が31%に減少し、「楽しかった」と回答した児童生徒は、58%に増加しました。

児童生徒が障がい者スポーツの手軽さや楽しさを感じる環境設定が普及のポイントです。

スモールステップの指導

アイマスクをして歩く



輪になりボールを触る



共に楽しむ状況づくり

声のする方に蹴る



的を目掛けて蹴る



児童生徒の感想

交流及び共同学習を行う際は、アンケートを行うことなどにより、児童生徒が事前と事後の自分の気持ちの変化に気付くようにすることが大切です。

- 小学生の感想「目が見えていたら簡単なことでも、目が見えないと難しいということが分かった」
- 中学生の感想「目が見えない人に、ボールの位置を伝えるには、3歩前など、具体的に伝えることが大切と感じた」
- 特別支援学校の生徒の感想「ブラインドサッカーは練習すると上手になり、楽しくなる競技だと感じた」
など

車いすバスケットボール

- **車いすバスケットボール特有のルール**
トラベリングやダブルドリブル、車いすが転倒した時の対応などについて特有のルールが定められています。
- **ゴール**
一般の競技と同じ高さ(3.05m)のゴールを使用します。
- **障がいの程度に応じた持ち点**
障がいの程度が重い選手も軽い選手も等しく試合に出場できるようドリブル、パス、シュートなどの動作や体幹のバランス能力に応じて持ち点が設定されています。
- **競技用車いす**



車いすバスケットボール用の車いすは、フレームや車輪の素材に、アルミやチタンを使っており、一般の車いすと比較して、丈夫にできています。ハの字の車輪は、操作しやすく、一般の車いすに比べると小回りが利くように設計されています。

- **ルールのサイト**
一般社団法人 日本車椅子バスケットボール連盟
<http://www.jwbf.gr.jp/about/rule.php>



- **試合の動画**
日本バスケットボール選手権大会北海道地区予選会
<https://youtu.be/Eqsfp6Tavug>



車いすカーリング

- **車いすカーリング特有のルール**
相手チーム選手と交互に投げる点ではカーリングと同じですが、男女混成でチームを編成する点、スweepingがない点が異なります。
- **補助道具の使用が可能**
ストーンは、カーリング同様に手で投げることや専用のデリバリーステッキを使って投げることが可能です。
- **得点の数え方**
ハウス(円)の中心に1番近いストーンを持つチームだけが得点できます。



一番中心に近いのは●。
次に近いのは●のため、
●チームは1点、●チームは0点。

- **ルールのサイト**
公益社団法人 日本カーリング協会
<http://www.curling.or.jp/about/about004.html>



- **試合の動画**
北海道車いすカーリング選手権大会
<https://youtu.be/Gllj5bRlBw?list=PLTJY6zkfYWiKfChULyGbAJJO6zu6zZdpV>



スモールステップの指導

競技用車いすに慣れる



ゴールの高さを調整する



環境の調整

距離を近くする



傾斜を利用する



共に楽しむ状況づくり

友達を引っ張る



ボールを追いかける

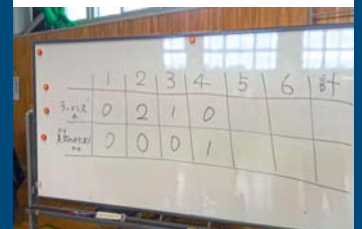


共に楽しむ状況づくり

同じ状況下で楽しむ



点数を付けて競う



- 小学生の感想「車いすを動かすのは難しいのに、特別支援学校の友達は、上手に操作していた」「車いすからのシュートは、下半身が使えないため、思うように投げられなかった」「ゴールが高く感じた」
- 特別支援学校の児童の感想「また、車いすバスケットボールに取り組んでみたい」
など

- 小学生の感想「障がいのある人と初めて一緒に障がい者スポーツを行ったけど、上手に取り組んでいた」
- 高校生の感想「人それぞれに障がいの程度が違うことを理解し、必要な手助けをしながらも一緒に楽しむことが大切であることが分かった」
- 特別支援学校の生徒の感想「初めてで難しかったけど楽しかった」
など

世界に羽ばたく 特別支援学校に在籍するアスリート



松田華奈さん

「車いすカーリングは、性別・年齢に関係なく楽しめます。一緒にパラリンピックを目指しませんか?」という松田華奈（まつだ かな）さんは、2014、2015車いすカーリングの日本代表選手です。北海道岩見沢高等養護学校に在籍しており、普段は北見フリーグスに所属し、活動しています。



戸谷隆之介さん

「個人としてはまだまだ足りないところがあるので、もっとレベルアップしていきたい」という戸谷隆之介（とや りゅうのすけ）さんは、2015ブラインドサッカーの日本代表強化指定選手です。北海道札幌視覚支援学校に在籍しており、普段はナマラ北海道に所属し、活動しています。

本資料で紹介した障がい者スポーツに興味のある人は

○ ブラインドサッカー

- ・ ナマラ北海道
<https://www.facebook.com/namarrahokkaido/?ref=hl>

○ 車いすカーリング

- ・ 北海道車いすカーリング協会
- ・ 旭川キュード
- ・ 帯広チェアカーリングクラブ
- ・ 札幌アイズアップ
- ・ 北見フリーグス
- ・ 十勝チェアカーリング
(Facebook で情報を入手できます)

○ 車いすバスケットボール

- ・ 北海道車椅子バスケットボール連盟
<http://hwbf2012.jimdo.com/>
- ・ 札幌ノースウィンド (札幌市)
<http://sapporo-north-wind.jimdo.com/>
- ・ 苫小牧WBC (苫小牧市)
- ・ ハダース函館元町ライオンズWBC (函館市)
- ・ 旭川リバーズ (旭川市)
<http://asahikawarivers.jimdo.com/>
- ・ 釧路FREEZZ (釧路市)

講師を依頼するには

NPO法人セカンドサポート <http://second-support.org/>

障がい者スポーツのイベント開催や講師の派遣、野球、サッカー、テニス等のトップアスリートの講師・コーチの派遣を行っています。

本資料を活用するには

- ◇ 事前・事後学習用「交流及び共同学習を行うに当たって (例)」
- ◇ 交流及び共同学習に関する資料「交流及び共同学習を進めるために」を北海道教育委員会 (特別支援教育課) のWebページに掲載しています。

「北海道『東京オリンピック・パラリンピック』プロジェクト」(北のTOPプロジェクト)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ssa/northtop.htm>

北のTOPプロジェクトでは、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う波及効果の本道の経済活性化や地域振興に結び付けるため、庁内関係部局の連携により、効果的な情報の収集・共有及び関連施策の総合的な推進を図ることとしています。

本資料は、北海道教育委員会 (特別支援教育課) のWebページに掲載しています。

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/tkk/>